

医療予防医学特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○丸川活司 田中真樹

【概要】

予防医学とは、個人だけでなく地域や集団を対象にし、人々の健康を増進する予防的介入に特化した分野で、疾病に罹患することを防ぎ、さらに人の健康の保持・増進を希求する学問である。医療予防医学特論では、生活習慣病や感染症の予防など、様々なテーマから予防医学の知識と臨床検査を担うために必要とされる技術と知識を総合的に学び、予防医学がこれまで果たした成果とこれからの適用分野について、疾病の知識とともに具体的事例から学ぶ。また、人間集団に対する健康管理的アプローチの方法として、疫学的な考え方や保健医療福祉活動の目的・課題についても学ぶ。

【学修目標】

- 1) 医療環境の変化や予防医療対策への社会的ニーズを把握するために、世界各国における予防医学に対する取り組みをより深く理解する。
- 2) 生体に及ぼす社会的環境問題および生活習慣要因について理解する。
- 3) 疫学的な考え方の理解および基礎的知識の習得する。
- 4) 我が国および主要先進国の人口構造、疾病構造の推移と特徴を理解する。
- 5) 地域保健医療福祉活動に必要な基礎的知識や基本的態度・習慣の習得する。
- 6) 予防医学分野に関する最新の知識の習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	予防医学総論	一次・二次・三次予防について	丸川活司
2	予防医学の歴史	予防医学の歴史	丸川活司
3	予防医学と行政の取組み	衛生行政の組織・地域保健法・保険医療制度	田中真樹
4	生活習慣と予防医学	生活習慣病予防のための保健指導	田中真樹
5	生活習慣と予防医学	食事療法による生活習慣改善	田中真樹
6	食品栄養からの予防医学	疾病予防と栄養・食生活	田中真樹
7	口腔ケアからみた予防医学	歯科医療と予防医療の関連	田中真樹
8	成人保健(循環器疾患)	循環器疾患予防のための生活習慣改善	田中真樹
9	成人保健(悪性新生物)	日本におけるがん死亡、がん罹患、生活習慣とがんについて	丸川活司
10	感染症予防	人獣共通感染症・新興感染症・再興感染症の感染症の成立条件と感染経路について	田中真樹
11	感染症予防	予防接種・各ワクチンの要点について	丸川活司
12	がん検診	がん検診の有用性について	丸川活司
13	がん検診	領域別がん検診の有効性について	丸川活司
14	ゲノムと予防医学	遺伝子情報を用いた予防医学	丸川活司
15	ゲノムと予防医学	ヒトゲノム情報に基づく疾病予防戦略	丸川活司

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%

【評価基準】

予防医学に関連する知識をより深く理解し、予防医学分野に関する最新の知識についても説明、解説できる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力(知識・技能、思考力、判断力、表現力など)の達成度に応じて、優(80点以上)、良(70点以上)、可(60点以上)の評価を与える。

【教科書】

教科書は使用しない

【参考書】

配布資料

【備考】

Google Formを用いてレポート課題を提示する。

【学修の準備】

各回に記載された用語の意味を事前に調べておくこと。(80分)

講義で配布した資料について理解しておくこと。(80分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP4) 身近な地域および国際的な保健・医療や社会の動向に目を向け、常に自己研鑽に務め、修得した能力を社会へと還元し、自ら成長できる能力を身につけていること。

【実務経験】

丸川活司(臨床検査技師)、田中真樹(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での経験を活かし、予防医学に関する基本的知識を講義する。